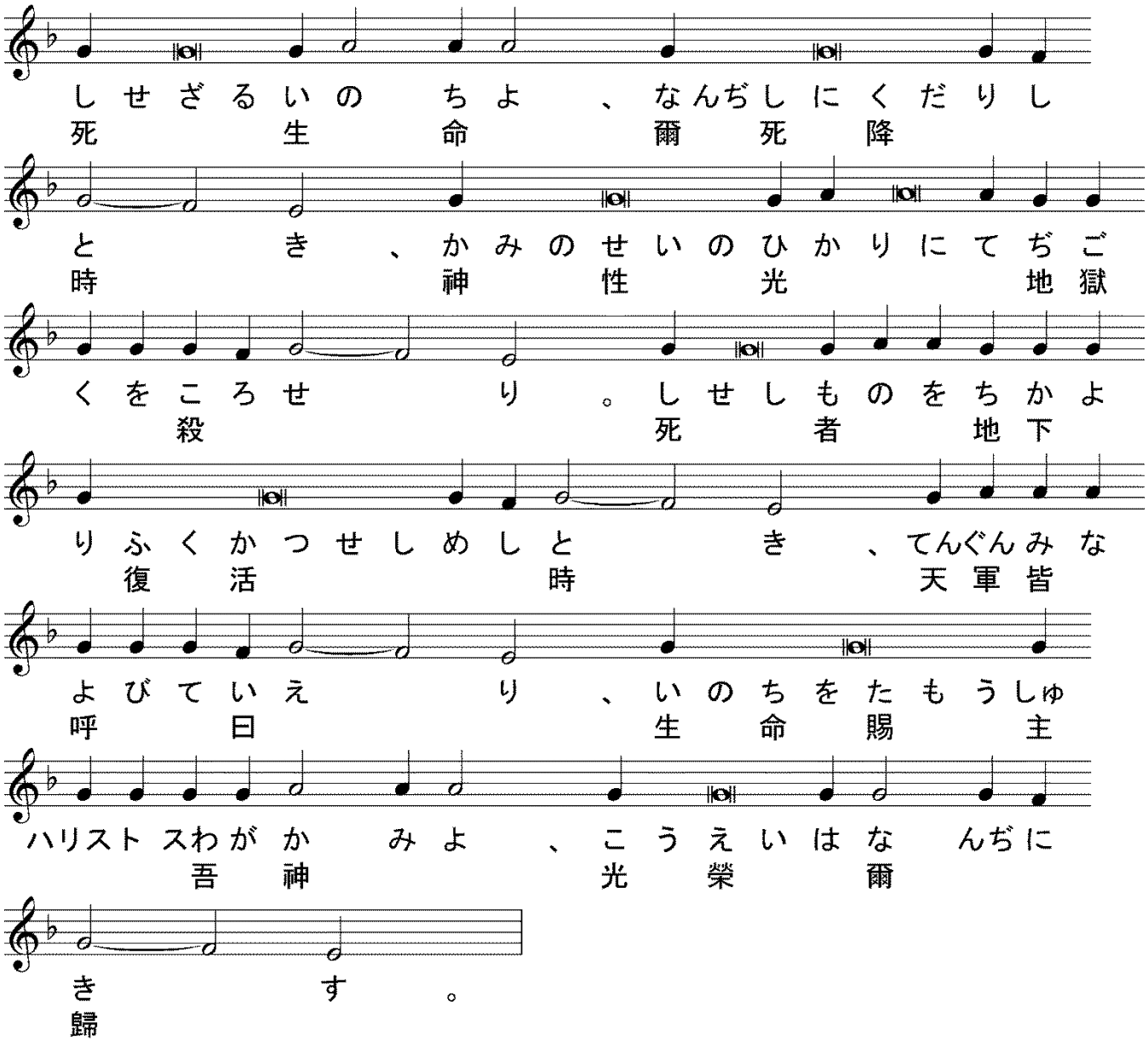
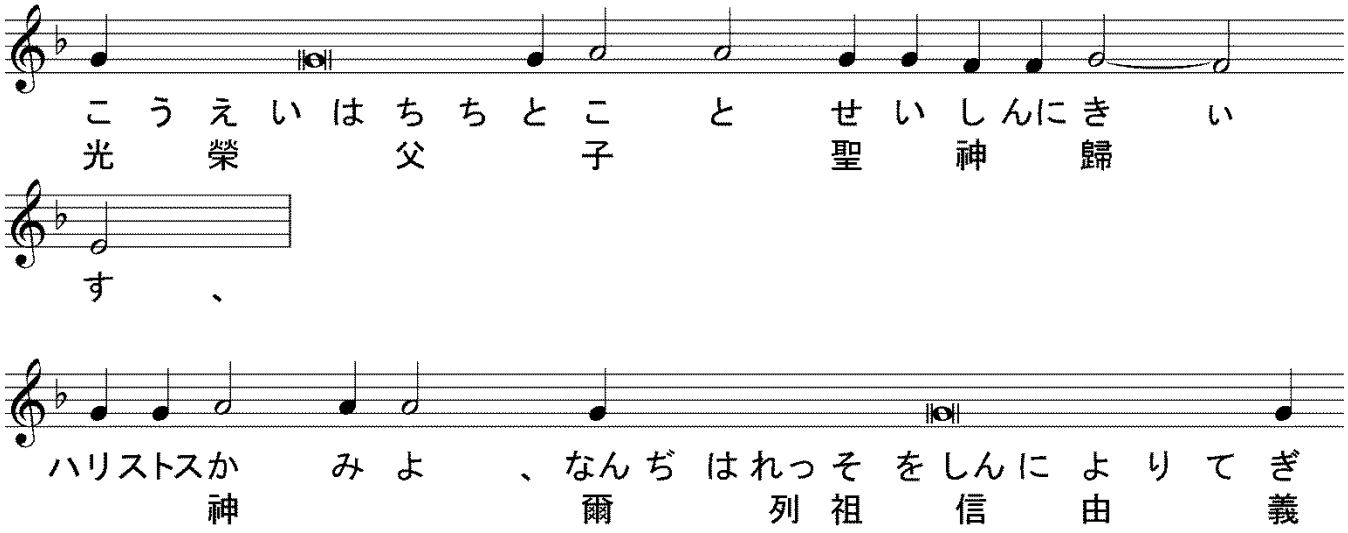
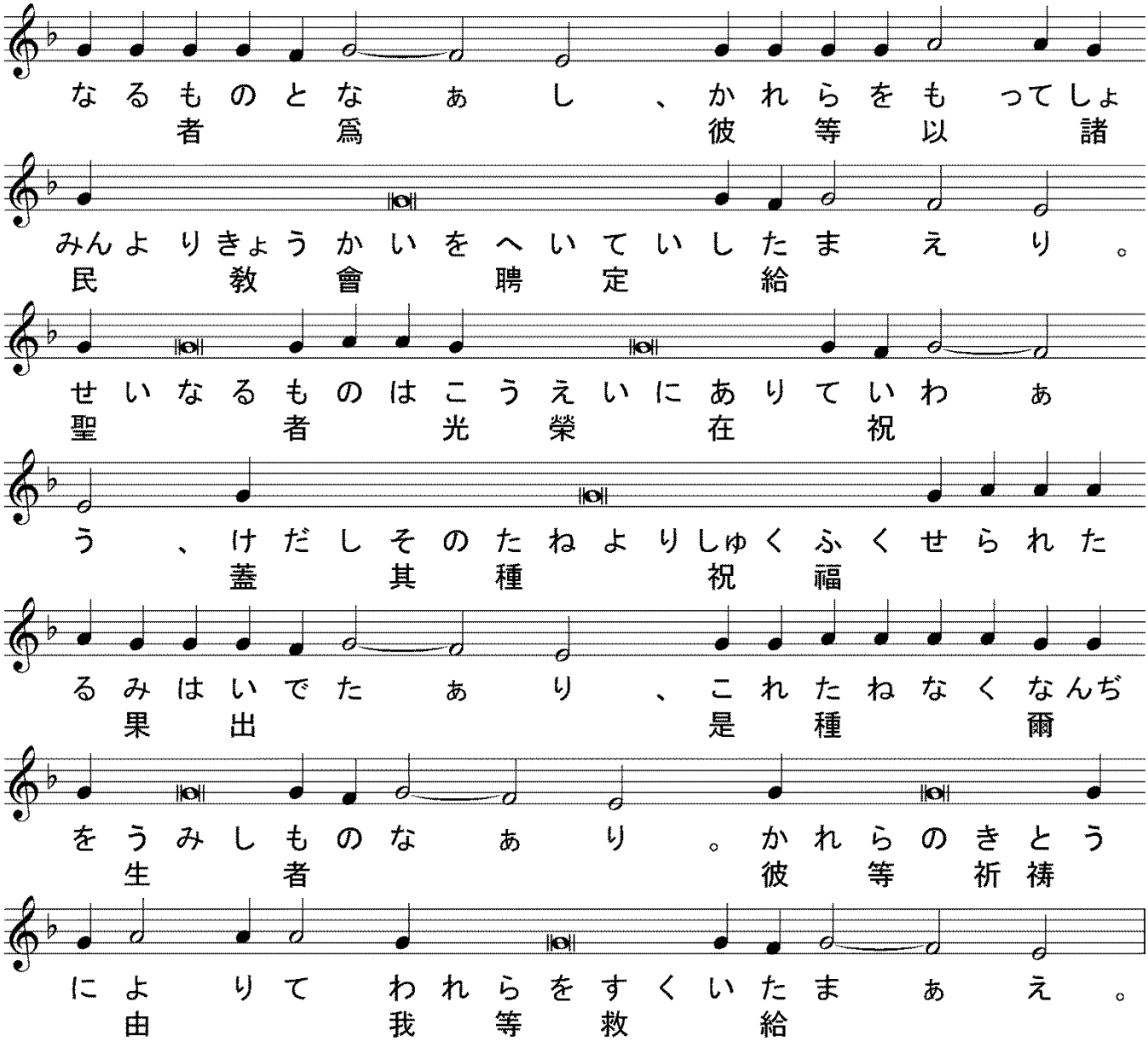
【　復活讃詞　第２調　】

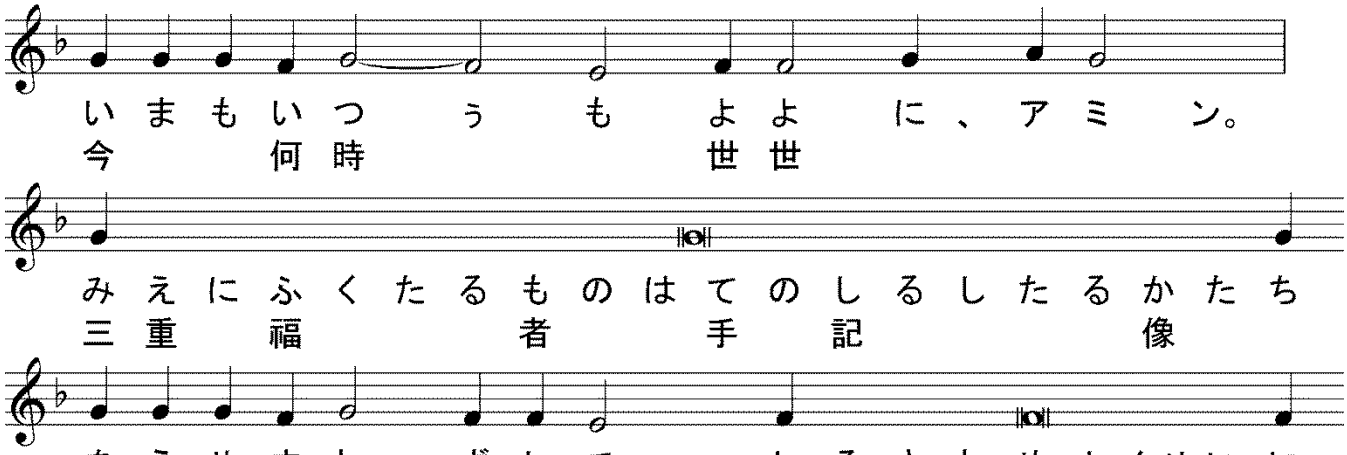


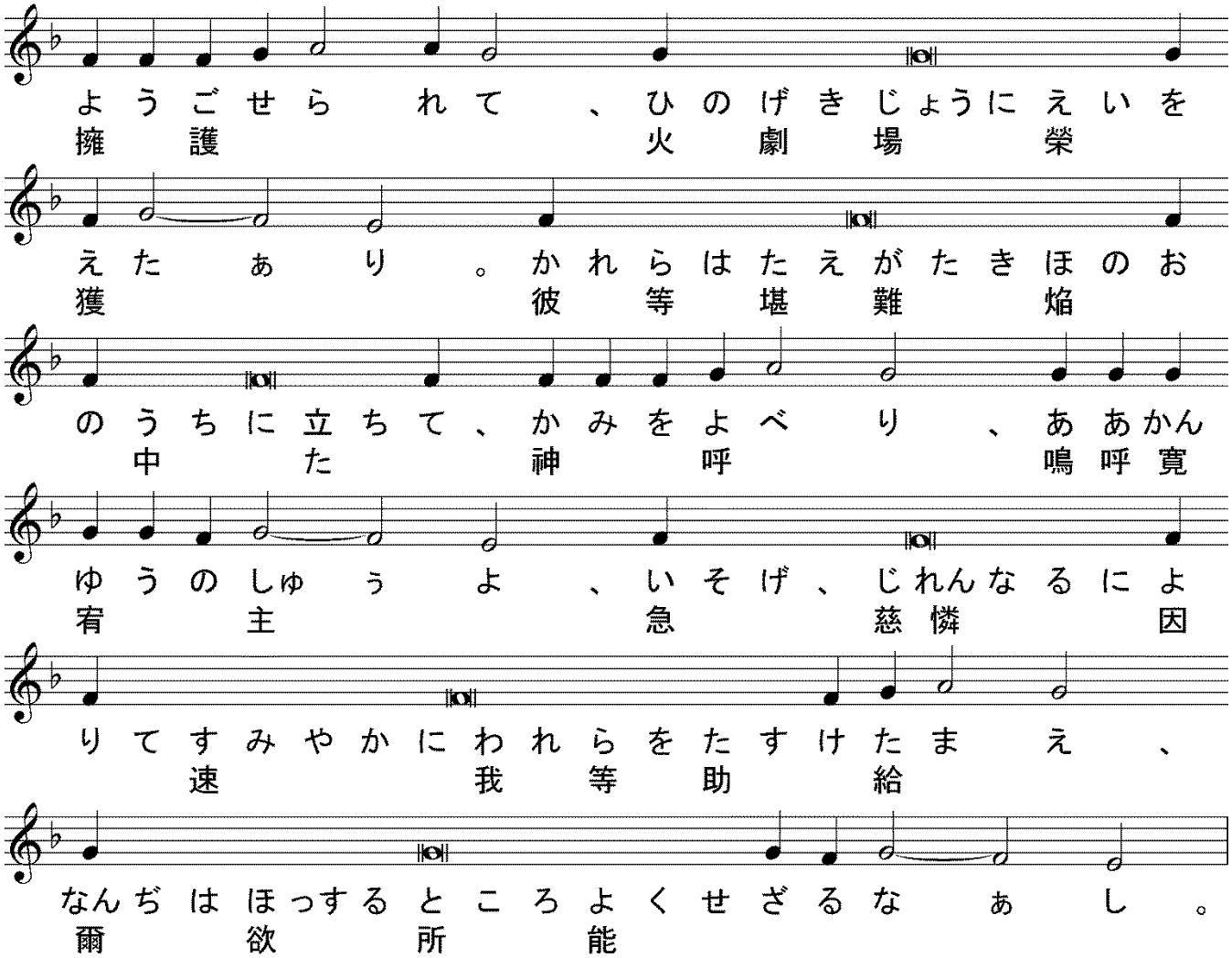
【　列祖のトロパリ　第２調　】





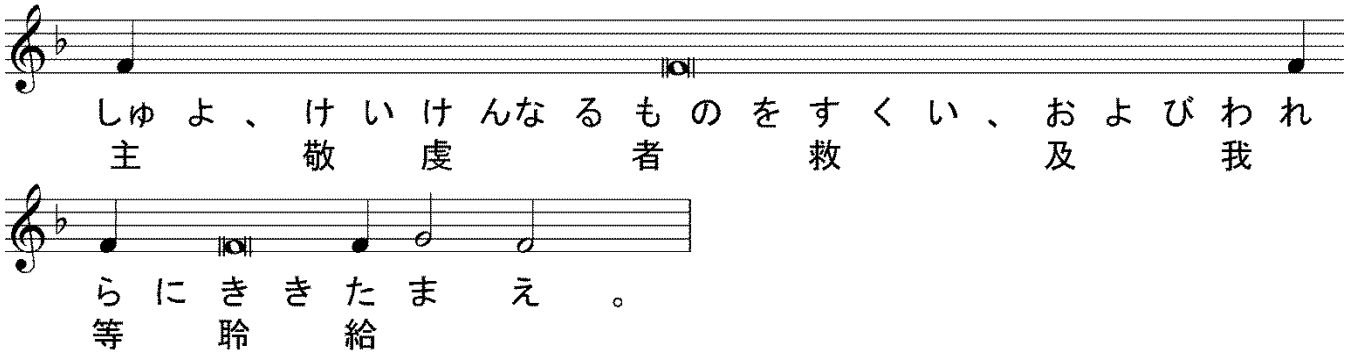
【　列祖のコンダック　第６調　】



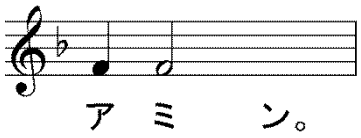


【　聖三の歌　】

代禱）主よ、敬虔なる者を救い、及び我等に聆き給え、



代禱）世世に、



【　聖三祝文　】

せいなるかみ、せいなるゆうき、せいなる
聖　神　聖　勇　毅　聖

じょうせいのものよ、われらをあわれめ
常　生　者　我　等　憐

よ。せいなるかみ、せいなるゆうき、せい
聖　神　聖　勇　毅　聖

なるじょうせいのものよ、われらをあわれ
常　生　者　我　等　憐

めよ。せいなるかみ、せいなるゆうき、
聖　神　聖　勇　毅

せいなるじょうせいのものよ、われらをあわ
聖　常　生　者　我　等　憐

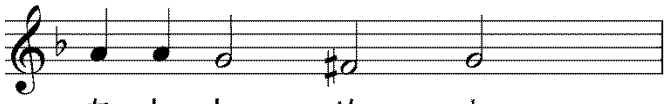
れめよ。こうえいはちちとことせいしん
光　榮　父　子　聖　神

にきす、いまもいつもよよに、アミン。
歸　今　何　時　世　世

せいなるじょうせいのものよ、われらをあわ
聖　常　生　者　我　等　憐

れめよ。せいなるかみ、せいなるゆう
聖　神　聖　勇

き、せいなるじょうせいのものよ、われらを
毅　聖　常　生　者　我　等

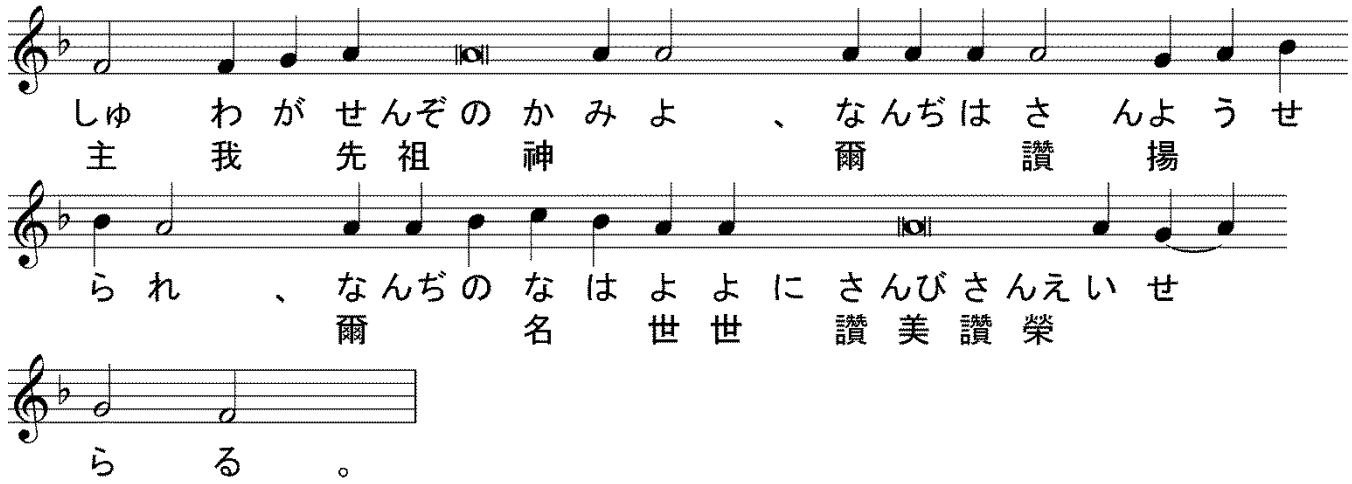


【　提綱（プロキメン）諸祖の歌　第４調　】

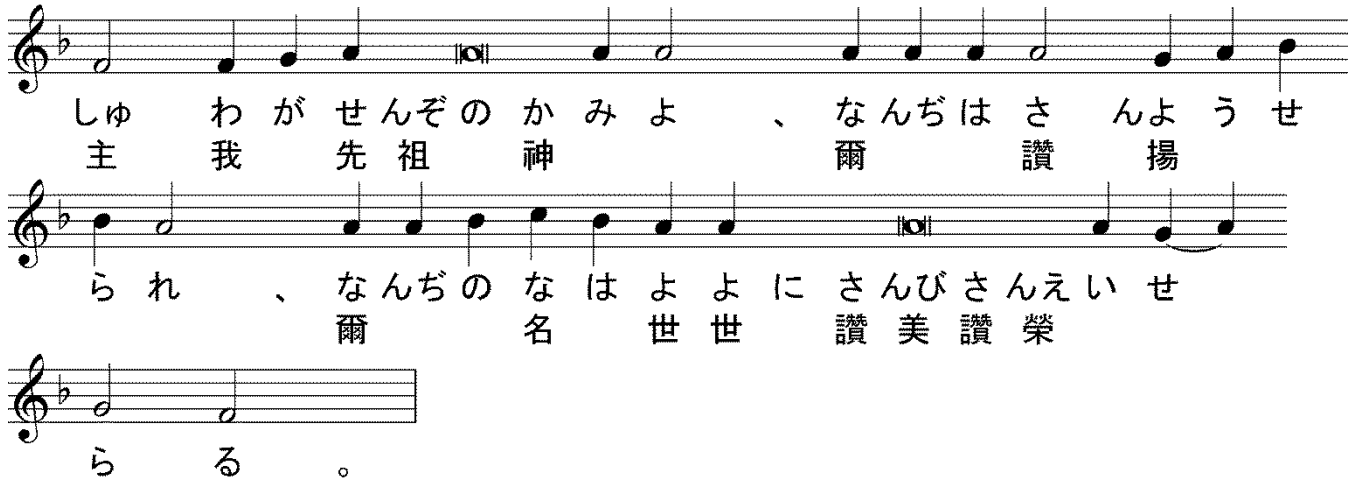
代禱）睿智、

誦經）プロキメン、主我が先祖の神よ、爾は讃揚せられ、爾の名は世世に讃美讃榮せら

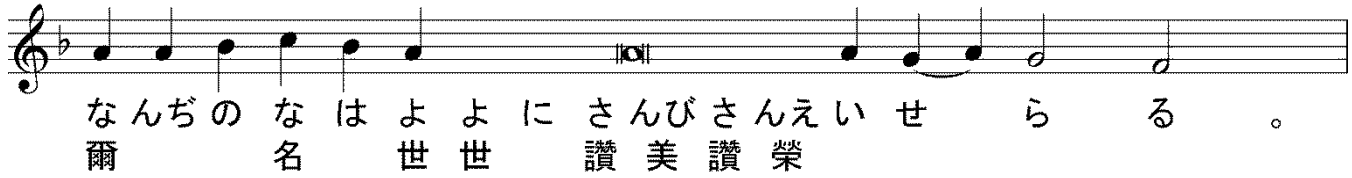
る、



誦經）蓋爾は凡そ我等に行いし事に於て義なり、



誦經）主我が先祖の神よ、爾は讃揚せられ、



【　使徒經（アポストロス）257端　コロサイ書3章4節～11節　】

代禱）睿智、

誦經）聖使徒パヴェルがコロサイ人に達する書の讀、

代禱）謹みて聽くべし、

誦經）兄弟よ、爾等の生命たるハリストスの現れん時、爾等も彼と偕に光榮の中に現れん。故に爾等の地に在る肢體を殺せ、即淫行、汚穢、邪侈、惡慾、及び貪婪、即拜偶像是なり、此等の爲に神の怒は悖逆の子に臨む。爾等も曩に、彼等の中に居りし時、之を行えり。今は爾等も忿怒、恚憾、怨恨、謗讟、爾等の口より出す愧づべき言、一切之を去れ、互に謊を言う勿れ、蓋爾等舊き人と其行とを脱ぎて、新なる人、即彼を造りし者の像に循いて知識の改めらるる者を衣たり。此にはエルリン人及びイゥデヤ人、割禮及び無割禮、夷狄及びスキト、奴隷及び自主の者なし、即ハリストスは一切なり、及び一切の中に在り。

＊＊

（比較用　口語訳）兄弟たちよ。わたしたちのいのちなるキリストが現れる時には、あなたがたも、キリストと共に栄光のうちに現れるであろう。だから、地上の肢体、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪欲、また貪欲を殺してしまいなさい。貪欲は偶像礼拝にほかならない。これらのことのために、神の怒りが下るのである。あなたがたも、以前これらのうちに日を過ごしていた時には、これらのことをして歩いていた。しかし今は、これらいっさいのことを捨て、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥ずべき言葉を、捨ててしまいなさい。互にうそを言ってはならない。あなたがたは、古き人をその行いと一緒に脱ぎ捨て、造り主のかたちに従って新しくされ、真の知識に至る新しき人を着たのである。そこには、もはやギリシヤ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開の人、スクテヤ人、奴隷、自由人の差別はない。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにいますのである。

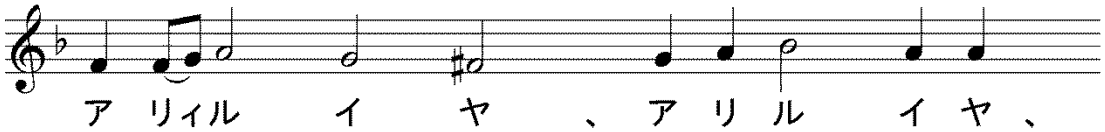
＊＊

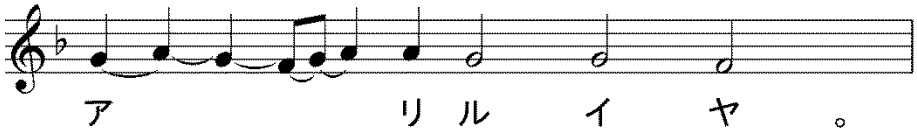
代禱）睿智、

誦經）アリルイヤ、

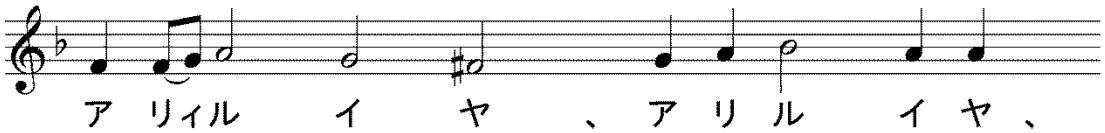
【　諸祖のアリルイヤ　第４調　】

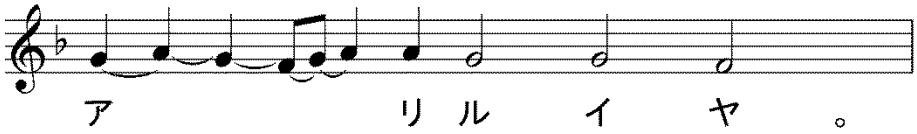
司祭）睿智、



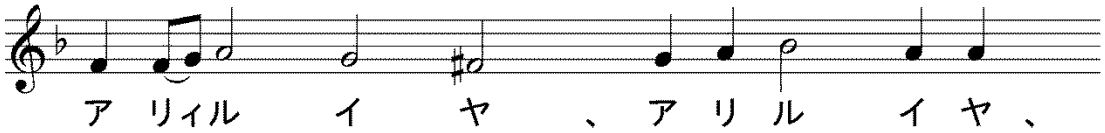


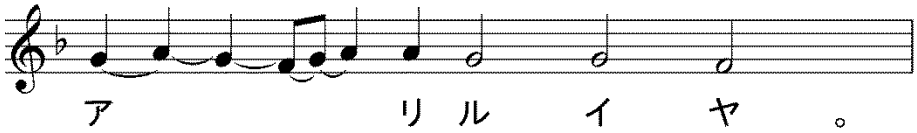
誦經）司祭(しさい)の中(うち)にモイセイ及(およ)びアアロンあり、彼(かれ)の名(な)を呼(よ)ぶ者(もの)の中(うち)にサムイルあり、





誦經）彼等(かれら)主(しゅ)に呼(よ)びしに、主之(しゅこれ)に聽(き)けり、

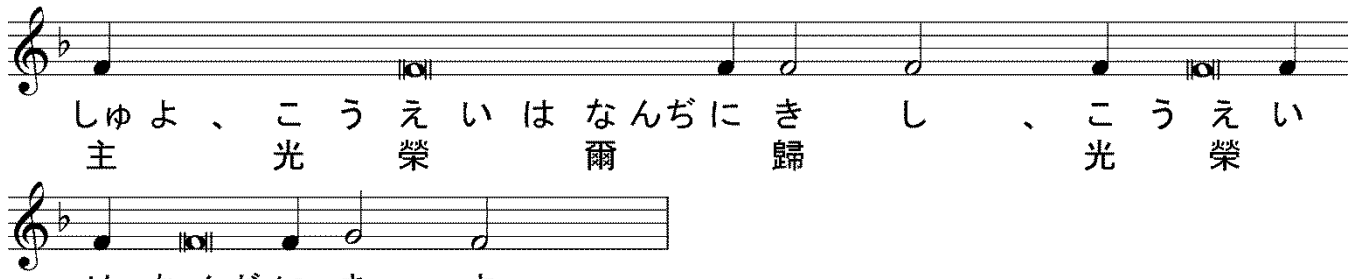




【　福音經（エヴァンゲリオン）　ルカ福音書76端　14章16～24節　】

代禱）睿智(えいち)、

誦經）ルカ傳(でん)の聖福音經(せいふくいんけい)の讀(よみ)、



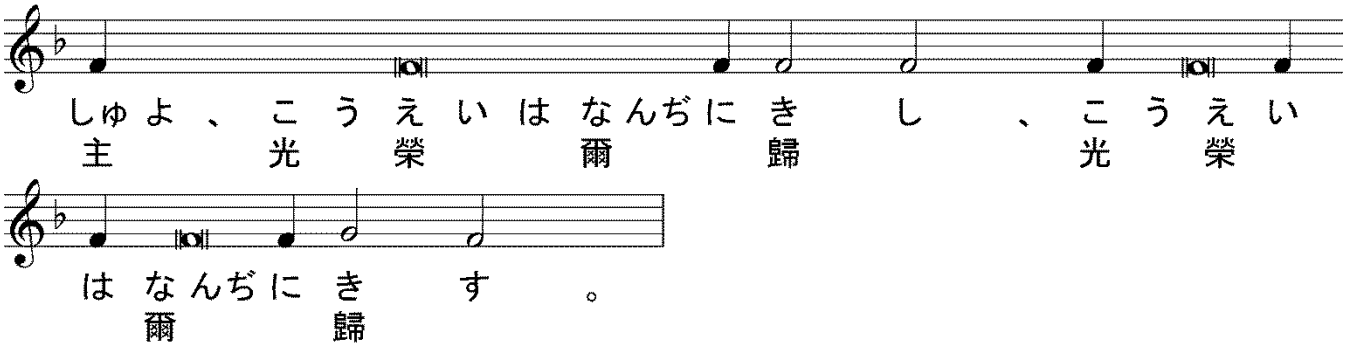
代禱）謹(つつし)みて聽(き)くべし、

誦經）主は左の譬を設けて曰えり、或人大なる晩餐を設けて、多くの者を招きたり。晩餐の時に及び、其僕を遣して、招かれたる者に謂えり、來れ、蓋一切已に備われり。彼等皆同じく辭したり。第一の者曰えり、我田地を買いたり、往きて之を見んことを要す、請う、我が辭するを允せ。他の者曰えり我牛五耦を買いたり、是を試みん爲に往く、請う、我が辭するを允せ。又他の者曰えり、我妻を娶りたり、是の故に來る能わず。其僕歸りて、之を主に告げたれば、家主怒りて、其僕に謂えり、速に邑の衢と巷とに出でて、貧乏、廢疾、跛者、瞽者を此に引き來れ。僕曰えり、主よ、爾の命ぜし如く行いたれども、尚餘れる座あり。主は僕に謂えり、道路及び藩籬の間に出でて、入らんことを説得して、我が家に盈たしめよ。蓋我爾等に語ぐ、彼の招かれたる人は、一も我が晩餐を嘗めざらん。蓋召されたる者は多けれども、選ばれたる者は少し。

＊＊

（比較用　口語訳）そこでイエスが言われた、「ある人が盛大な晩餐会を催して、大ぜいの人を招いた。晩餐の時刻になったので、招いておいた人たちのもとに僕を送って、『さあ、おいでください。もう準備ができましたから』と言わせた。ところが、みんな一様に断りはじめた。最初の人は、『わたしは土地を買いましたので、行って見なければなりません。どうぞ、おゆるしください』と言った。ほかの人は、『わたしは五対の牛を買いましたので、それをしらべに行くところです。どうぞ、おゆるしください』、もうひとりの人は、『わたしは妻をめとりましたので、参ることができません』と言った。僕は帰ってきて、以上の事を主人に報告した。すると家の主人はおこって僕に言った、『いますぐに、町の大通りや小道へ行って、貧乏人、不具者、盲人、足なえなどを、ここへ連れてきなさい』。僕は言った、『ご主人様、仰せのとおりにいたしましたが、まだ席がございます』。主人が僕に言った、『道やかきねのあたりに出て行って、この家がいっぱいになるように、人々を無理やりにひっぱってきなさい。あなたがたに言って置くが、招かれた人で、わたしの晩餐にあずかる者はひとりもないであろう』」。

＊＊



※聖体礼儀３（金口イォアン）へ